

令和3年度 桜蔭中学校入学試験問題 [算数]

答えはすべて解答用紙に書きなさい。

I 次の にあてはまる数を答えなさい。 イ は色を答えなさい。

(1) $\left(7\frac{64}{91} \times \text{ア} - 0.7 - \frac{5}{13}\right) \times 11 + 76\frac{11}{13} = 85\frac{5}{7}$

(2) 2021年のカレンダーの日付を1月1日から順に、青、黄、黒、緑、赤、青、黄、黒…と5色の○で囲んでいきます。

① 10月1日を囲んだ○の色は イ 色です。

② 4月の日付のうち黒色の○で囲まれた日付の数字を全部足すと ウ になります。

(3) 整数 X の約数のうち1以外の約数の個数を $【X】$ ，1以外の約数をすべて足したものを $\langle X \rangle$ と表すことにします。

たとえば、2021の約数は、1、43、47、2021なので $【2021】 = 3$ ， $\langle 2021 \rangle = 2111$ です。

① $\langle A \rangle \div 【A】$ が整数にならない2けたの整数 A のうち、最大のものは エ です。

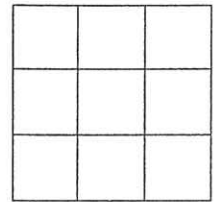
② $【B】 = 2$ ， $\langle B \rangle = 1406$ のとき、 $B =$ オ です。

③ 2を10回かけた数を C とするとき $【C】 =$ カ です。

④ 60以下の整数のうち $【D】 = 3$ となる整数 D は全部で キ 個あります。

同じ大きさの白と黒の正方形の板がたくさんあります。図1のように白い板を9枚すきまなく並べて大きな正方形を作り、図2のように中央の板に◎をかきます。次に◎以外の8枚のうち何枚かを黒い板と取りかえます。このとき、大きな正方形の模様が何通り作れるかを考えます。ただし、回転させて同じになるものは同じ模様とみなします。

図1



たとえば、2枚取りかえたときは図3のように四すみの2枚を取りかえる2通り、図4のように四すみ以外の2枚を取りかえる2通り、図5のように四すみから1枚、四すみ以外から1枚取りかえる4通りの計8通りになります。

図2

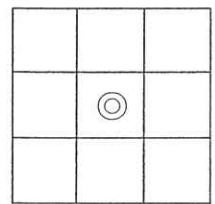


図3

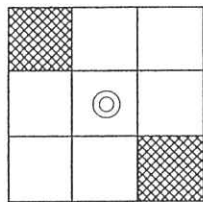
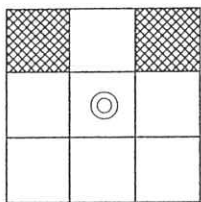


図4

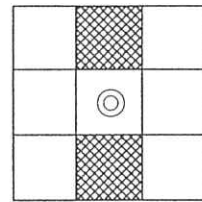
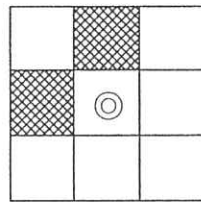
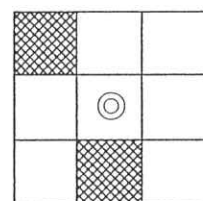
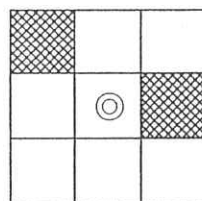
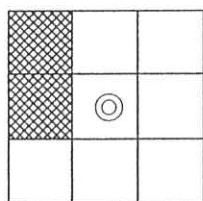
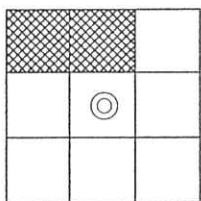


図5

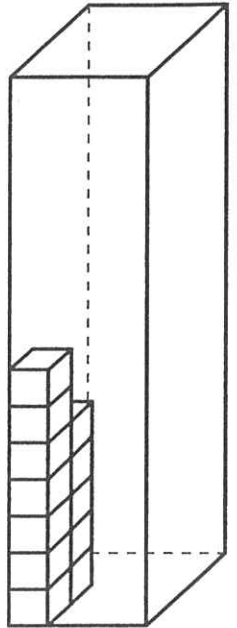


下の にあてはまる数を答えなさい。

- (1) 大きな正方形の模様は、9枚のうち◎以外の8枚の白い板を1枚も取りかえないときは1通り、1枚取りかえたときは ア 通り、3枚取りかえたときは イ 通り、4枚取りかえたときは ウ 通りになります。
- (2) 同じように5枚、6枚、…と取りかえるときも考えます。図2の場合もふくめると大きな正方形の模様は全部で エ 通りになります。

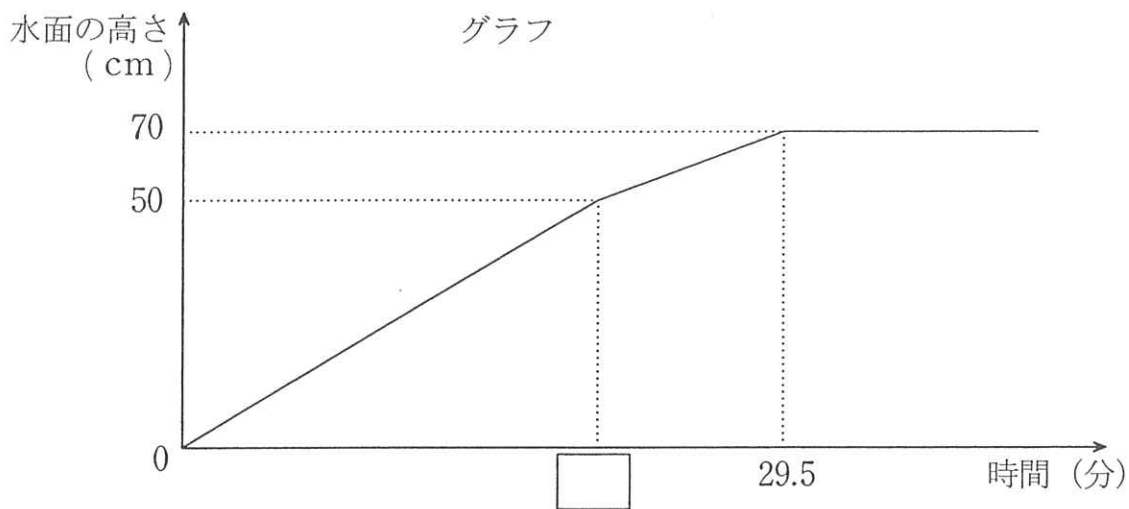
Ⅲ 底面が1辺35 cmの正方形で、高さが150 cmの直方体の容器の中に1辺10 cmの立方体12個を下から何個かずつ積みます。立方体を積むときは、図のように上と下の立方体の面と面、同じ段でとなり合う立方体の面と面をそれぞれぴったり重ね、すきまなく、横にはみ出さないようにします。積んだあと、この容器に一定の速さで水を入れていきます。立方体は水を入れても動きません。積んだ立方体の一番上の面まで水が入ると水は止まります。下の表は右の図の場合の立方体の積み方を表していて、このとき水を入れはじめてからの時間と水面の高さの関係は下のグラフのようになりました。

図



表

1段目	2段目	3段目	4段目	5段目	6段目	7段目	8段目
2	2	2	2	2	1	1	0



- (1) 毎分何 cm^3 の水を入れていきますか。
- (2) グラフの にあてはまる数を求めなさい。
- (3) 立方体の積み方を変えてもっとも短い時間で水が止まるようにします。そのときにかかる時間は何分ですか。また、その場合の立方体の積み方をすべてかきなさい。解答らんは全部使うとは限りません。
- (4) 水が止まるまでの時間が19.7分になる場合の立方体の積み方のうち、1段目の個数が多いほうから4番目のものをすべてかきなさい。解答らんは全部使うとは限りません。

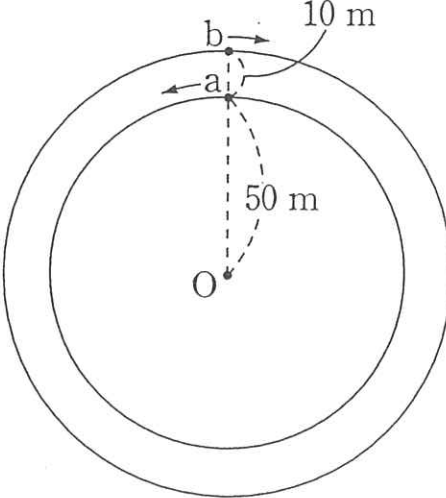
IV 円周率は、3.14 を使って計算することが多いです。しかし、本当は 3.14159265... とどこまでも続いて終わりのない数です。この問題では、円周率を 3.1 として計算してください。

図のように点 O を中心とした半径の異なる 2 つの円の周上に道があります。

A さんは内側の道を地点 a から反時計回りに、B さんは外側の道を地点 b から時計回りに、どちらも分速 50 m の速さで同時に進みはじめます。

A さんと B さんのいる位置を結ぶ直線が点 O を通るときに、ベルが鳴ります。ただし、出発のときはベルは鳴りません。

- (1) A さんと B さんが道を 1 周するのにかかる時間はそれぞれ何分ですか。
- (2) 1 回目と 2 回目にベルが鳴るのは、それぞれ出発してから何分後ですか。
- (3) 出発してから何分かたったあと、2 人とも歩く速さを分速 70 m に同時に変えたところ、5 回目にベルが鳴るのは速さを変えなかったときと比べて 1 分早くなりました。速さを変えたのは、出発してから何分後ですか。



I

ア		イ		ウ	
エ		オ		カ	
キ					

II

ア		イ		ウ		エ	
---	--	---	--	---	--	---	--

III

(1)式

答 _____ cm^3

(2)式

答 _____

(3)式

答 かかる時間 _____ 分

(積み方)

1段目	2段目	3段目	4段目	5段目	6段目	7段目	8段目

(4) (積み方)

1段目	2段目	3段目	4段目	5段目	6段目	7段目	8段目

IV (1)式

答 Aさん _____ 分 Bさん _____ 分

(2)式

答 1回目 _____ 分後 2回目 _____ 分後

(3)式

答 _____ 分後

受験番号 ()